

# 第 4 回八瀬川ワークショップ

9 月 7 日 (日) に開催しました!



## 夢の丘小学校との取り組み

小学生による総合学習の学習成果を川づくりに反映させ、また小学生に身近な川である八瀬川に親しんでもらうことを目的として、相模原市役所と市立夢の丘小学校が協働し、4年生約 160 名を対象とした総合学習を利用した取り組みを行っています。第6回ワークショップではその成果の一部を紹介する予定です。

### ◇水の循環や身近な川に関する授業 (平成 20 年 6 月 4 日)

夢の丘小学校で市の職員とコンサルタントが以下のテーマについて授業を行いました。

○水の循環 (サイクル)

○相模原市の川

○私たちの身近な川『八瀬川』

子供達はとても興味深く話を聞きました。クイズや質問のコーナーではスタッフが予想外の質問攻撃を受けるなど、活発な発言がたくさんあり、水や川について楽しく学ぶことができたようです。



### ◇八瀬川の体験活動 (平成 20 年 6 月 20 日)

八瀬川がどんな川なのかを知ってもらうために、実際に八瀬川に行き、以下のテーマについてそれぞれ 20~30 分の体験学習をしました。

○タモ網を使った魚の捕獲方法や魚の観察

○ヤゴやアメリカザリガニなど底生動物の観察

○水質の実験

○流れの速さの実験

当日は天候に恵まれ、県立内水面試験場や市立博物館の生物の先生やスタッフの熱心な説明のもと、子ども達の歓声が水面ににぎやかに響く、有意義な観察会を実施することができました。



お問い合わせ先

相模原市都市建設局土木部河川整備課 (担当: 山口)

〒229-8611 相模原市中央 2-11-15

TEL : 042-769-8273 FAX : 042-769-5822

## 1. 第 4 回ワークショップの目的

第 4 回ワークショップでは、これまでに確認してきた現状や事例を踏まえ、整備の方針とイメージについて検討しました。ここで検討した結果に基づいて、第 5 回以降に実際の整備計画を練っていきます。

### 第 4 回ワークショップの概要

日時と集合場所

9/7 (日) 14 時~17 時 塩田自治会館

参加者

ワークショップメンバー: 市民 21 名

主催者: 相模原市河川整備課職員

スタッフ: コンサルタント (日本技術開発株式会社)

当日のスケジュール

14:00- | 第 2・3 回ワークショップ及び

| 溪谷ゾーン観察会の報告

14:15- | 八瀬川の現況と課題の説明

14:30- | 八瀬川の現計画の説明

14:40- | グループ討議の進め方の説明

14:50- | グループ討議

15:40- | 発表・意見交換

16:50- | 第 5 回ワークショップの連絡

ワークショップのスケジュール

回	日程	内容
第 1 回 終了	5/31	H19 年度基礎調査結果の報告 八瀬川の現況イメージの作成
第 2 回 終了	6/15	八瀬川現地調査 現況特性カルテの作成
第 3 回 終了	7/26	道保川等他河川見学 他河川カルテの作成
第 4 回 終了	9/7	整備方針の作成
第 5 回	10/19	整備計画案 (グループ案) の作成
第 6 回	11/30 予定	整備計画案を各グループ案から ワークショップ案へ集約
第 7 回	1 月 予定	ワークショップ案の決定 河川活動案の決定

この冊子の内容

ワークショップの様子



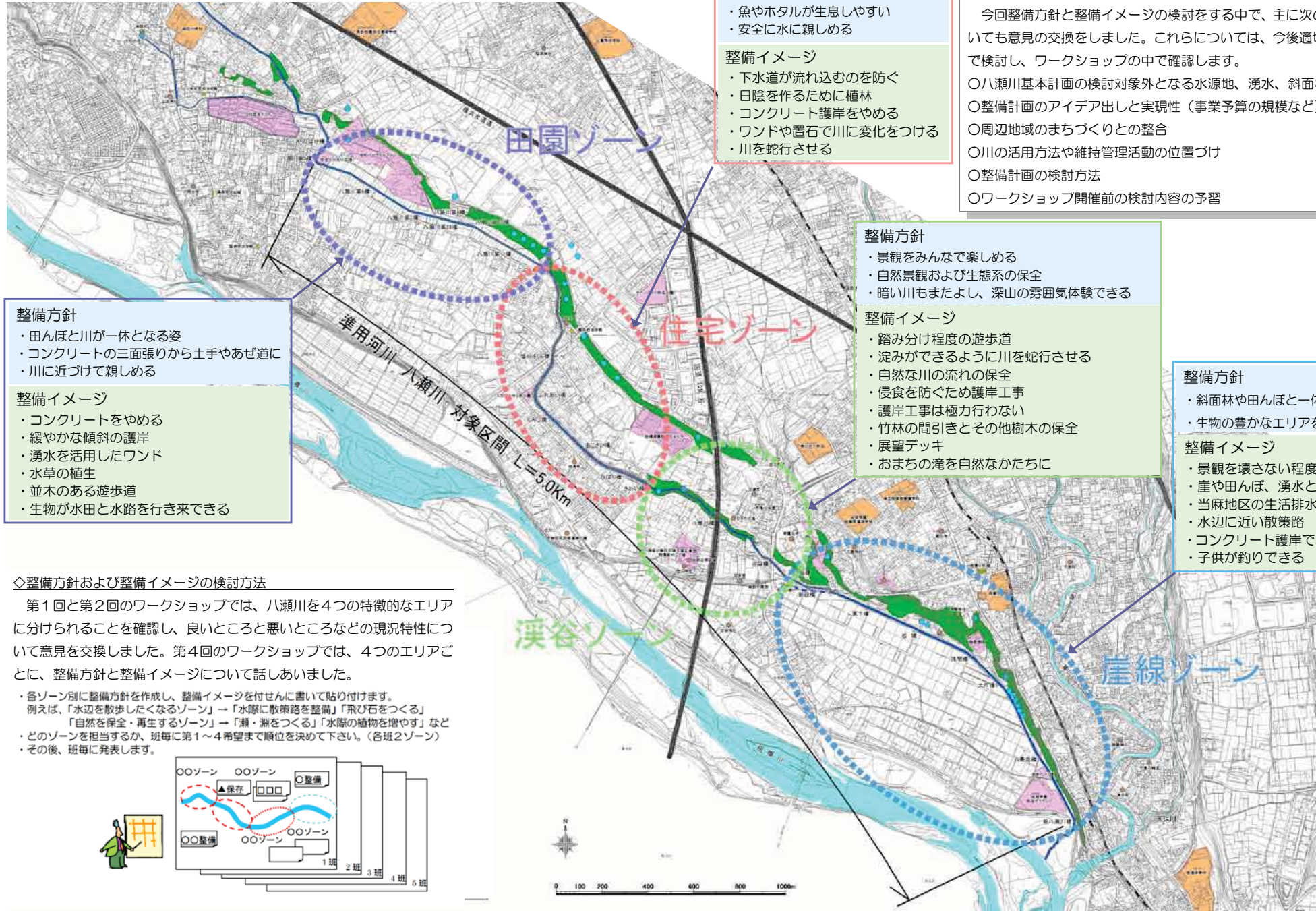
▲ 第 2 回ワークショップの報告

▲ 整備方針と整備イメージの検討

▲ 検討結果の発表

## 2.ワークショップの検討結果

### ◇ゾーン毎の整備方針および整備イメージとして出た主な意見



**整備方針**

- ・魚やホタルが生息しやすい
- ・安全に水に親しめる

**整備イメージ**

- ・下水道が流れ込むのを防ぐ
- ・日陰を作るために植林
- ・コンクリート護岸をやめる
- ・ワンドや置石で川に変化をつける
- ・川を蛇行させる

**◇ワークショップの進め方に関する主な意見**

今回整備方針と整備イメージの検討をする中で、主に次のような話題についても意見の交換をしました。これらについては、今後適切な方法を事務局で検討し、ワークショップの中で確認します。

- 八瀬川基本計画の検討対象外となる水源、湧水、斜面林、水路の扱い
- 整備計画のアイデア出しと実現性（事業予算の規模など）の関係
- 周辺地域のまちづくりとの整合
- 川の活用方法や維持管理活動の位置づけ
- 整備計画の検討方法
- ワークショップ開催前の検討内容の予習

**整備方針**

- ・田んぼと川が一体となる姿
- ・コンクリートの三面張りから土手やあぜ道に
- ・川に近づけて親しめる

**整備イメージ**

- ・コンクリートをやめる
- ・緩やかな傾斜の護岸
- ・湧水を活用したワンド
- ・水草の植生
- ・並木のある遊歩道
- ・生物が水田と水路を行き来できる

**整備方針**

- ・景観をみんなで楽しめる
- ・自然景観および生態系の保全
- ・暗い川もまたよし、深山の雰囲気体験できる

**整備イメージ**

- ・踏み分け程度の遊歩道
- ・淀みができるように川を蛇行させる
- ・自然な川の流れの保全
- ・侵食を防ぐため護岸工事
- ・護岸工事は極力行わない
- ・竹林の間引きとその他樹木の保全
- ・展望デッキ
- ・おまの滝を自然なかたちに

**整備方針**

- ・斜面林や田んぼと一体感のある姿
- ・生物の豊かなエリアを上流に広げる

**整備イメージ**

- ・景観を壊さない程度の川の蛇行
- ・崖や田んぼ、湧水と川の一体化
- ・当麻地区の生活排水の改善
- ・水辺に近い散策路
- ・コンクリート護岸でなく自然のものに
- ・子供が釣りができる

### ◇整備方針および整備イメージの検討方法

第1回と第2回のワークショップでは、八瀬川を4つの特徴的なエリアに分けられることを確認し、良いところと悪いところなどの現状特性について意見を交換しました。第4回のワークショップでは、4つのエリアごとに、整備方針と整備イメージについて話しあいました。

- ・各ゾーン別に整備方針を作成し、整備イメージを付せんに書いて貼り付けます。  
 例えば、「水辺を散歩したくなるゾーン」→「水際に散策路を整備」「飛び石をつくる」「自然を保全・再生するゾーン」→「瀬・淵をつくる」「水際の植物を増やす」など
- ・どのゾーンを担当するか、班毎に第1～4希望まで順位を決めて下さい。（各班2ゾーン）
- ・その後、班毎に発表します。

